

RD-V40 / RD-V30 / RD-V20 / RD-V17

(7MHz帯)

(10MHz帯)

(14MHz帯)

(18MHz帯)

RD-V15 / RD-V12 / RD-V10

(21MHz帯)

(24MHz帯)

(28MHz帯)

取扱説明書

このたびはラディックス製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、取扱説明書をよくお読みの上正しくお使い下さい。
また、お読みになられた後は、大切に保存して下さい。

【 特 長 】

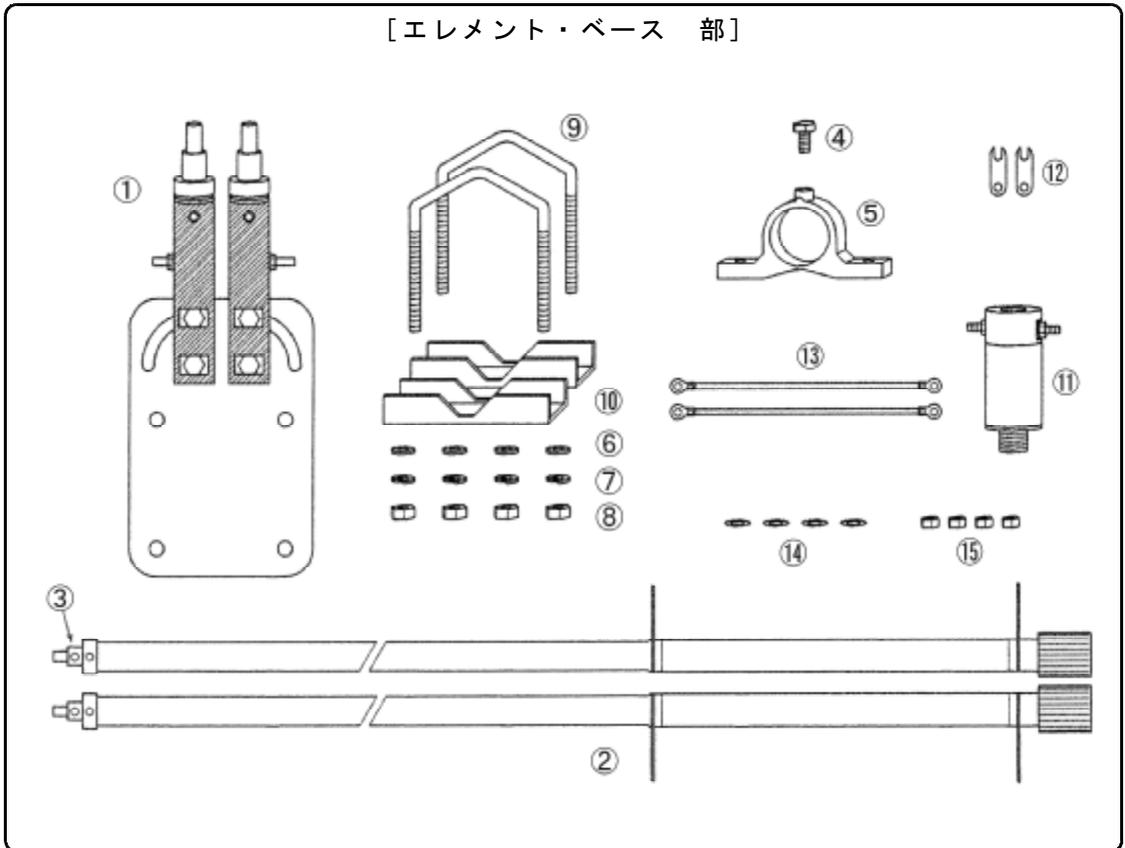
- ① エレメントの受風面積が小さく軽量なため、ペランダの手すり等に簡単に取付・取外しができます。
- ② エレメントは簡易脱着でき、約1mにまで伸縮できますので、未使用時にはコンパクトに収納できます。また、伸縮が容易なので移動運用にも最適です。
- ③ ベースコイルセットの交換により他の周波数での運用がエレメント長の再調整無しで可能です。
(初回のみベースコイルの調整があります。)
- ④ エレメントは、水平から 90° まで連続可変できますので周囲の状況に合った取付スタイルを選択できます。

安全にお使いいただくために

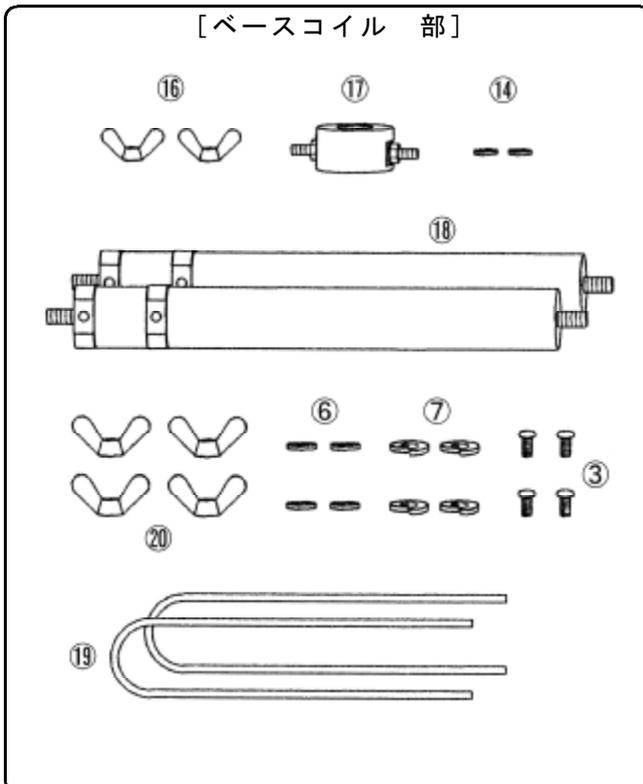
- エレメントが周囲の電線に接触すると感電したり、無線機が故障する恐れがあるので、電線のそばには設置しないでください。
- 落下防止のため、ネジ類のゆるみがないか定期的に確認し、長期間ご使用にならない場合はエレメントをはずしておいてください。
- ベースコイルの交換やエレメントの取り外し時は、特に下の状況をよく見て、人通りなどのある時は絶対に作業をしないでください。また引っかけたりしないように周囲に何があるか確認後作業をしてください。
- アンテナを組み立てる時は安全な場所で行い、マスト等に取り付ける際は十分注意し、必ず安全ベルトを着用してください。
- ペランダ等での作業は片方ずつ行い、手すりから身をのりださないように注意してください。
- 風の強い日や雨・雪の日、また夜間は危険ですので絶対に作業をしないでください。
- 送信中にエレメントやベースコイルには絶対に触れないでください。やけどの原因となり大変危険です。運用中は他の人も危険の無いように十分注意してください。
- 周波数に合ったベースコイルを使用してください。また、時々VSWRの確認をして最良の状態で開催してください。VSWRが悪化している場合は原因を確認し、不明の場合は使用を中止してください。

パーツを確認しましょう

[エレメント・ベース 部]



[ベースコイル 部]



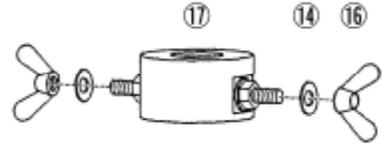
	部 品 名	数量
①	マウント・ベース	1
②	エレメント	2
③	ナベビス	8
④	六角ボルト	1
⑤	取付金具	1
⑥	平ワッシャ	8
⑦	スプリングワッシャ	8
⑧	ナット(M6)	4
⑨	Uボルト	2
⑩	マウントブラケット	2
⑪	バラン	1
⑫	ショート端子	2
⑬	リード線	2
⑭	内歯ワッシャ	6
⑮	ナット(M4)	4
⑯	ウイングナット(M4)	2
⑰	マッチング・ケース	1
⑱	ベース・コイル	2
⑲	U字エレメント	2
⑳	ウイングナット(M6)	4

※RD-V10にはコイル・セットの⑭内歯ワッシャ, ⑯ウイングナット(M4), ⑰マッチング・ケースは付属しません。

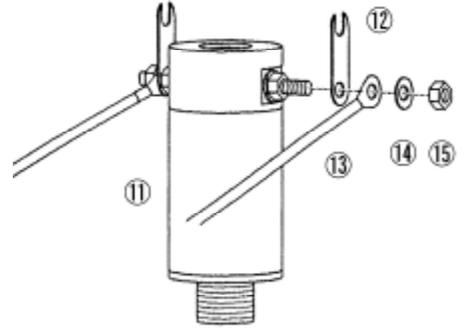
組立方法

7mmと10mmのスパナと(+)ドライバーをご用意ください。

- (1) ⑪バランのネジ部に、⑫ショート端子、⑬リード線、
⑭内歯ワッシャをとおし、⑮ナット(M)でしっかり止める。



- (2) ⑫ショート端子の溝に、⑪マッチング・ケースを合わせ、
⑭内歯ワッシャを通して、⑮ウイングナット(M)で止める。



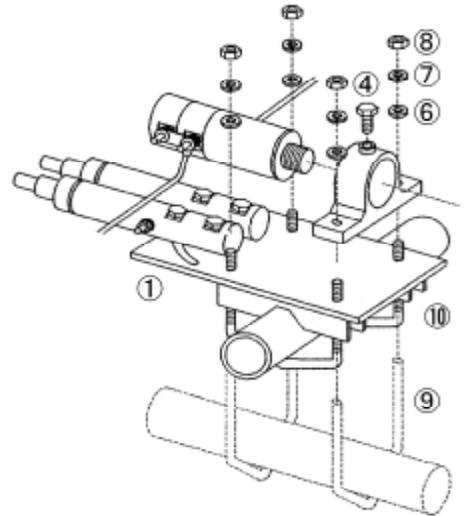
【注意】

⑪マッチング・ケースは、RD-V10(RDC-10)には必要ありません。ただし⑫ショート端子は別売のオプション・コイル使用時に必要になりますので、大切に保存しておいてください。
また、⑪マッチング・ケースは周波数帯ごとに違います。
⑱ベース・コイルと同じ周波数表示の物をお使いください。
間違えますと、調整ができないばかりではなく、バランの破損原因になりますのでご注意ください。

- (3) ①バランを、⑤取付金具に通し、④六角ボルトで止める。

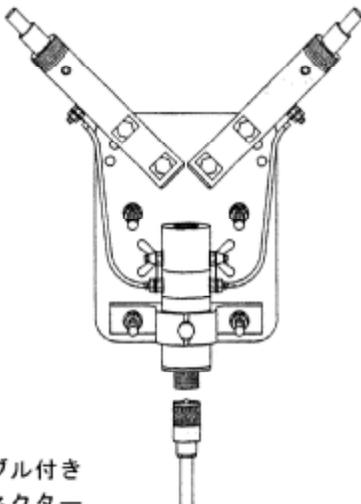
- (4) ⑨Uボルトに、マストやベランダの手すり等、取り付けたい所を通し、①マウント・ベースの穴に合わせて、⑤取付金具といっしょに、⑥平ワッシャと⑦スプリング・ワッシャを通して、
⑧ナット(M6)で軽く止める。(調整後にしっかり止めます)

パイプ状のマストやマストの途中に取り付ける場合は、マストと①マウントベースの間に⑩マウントブラケットを挟んで固定します。



- (5) ⑪バランに付けた⑫リード線の端子を、
⑭内歯ワッシャと⑮ナット(M)で固定する。

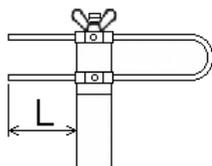
- (6) MPコネクタの付いた同軸ケーブルを
①バランのMPコネクタに接続する。



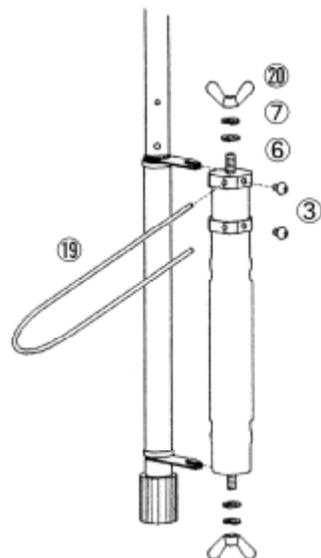
ケーブル付き
MPコネクタ

【参考】 同軸ケーブルは別売です。
調整後、防水のため自己融着テープ
やビニールテープなどで巻いておく
ことをおすすめします。

- (7) ⑰ベース・コイル に ⑲U字エレメントを右図の様に取付け、標準寸法にセットし、③ナベビス を (+)ドライバーで軽く締める。



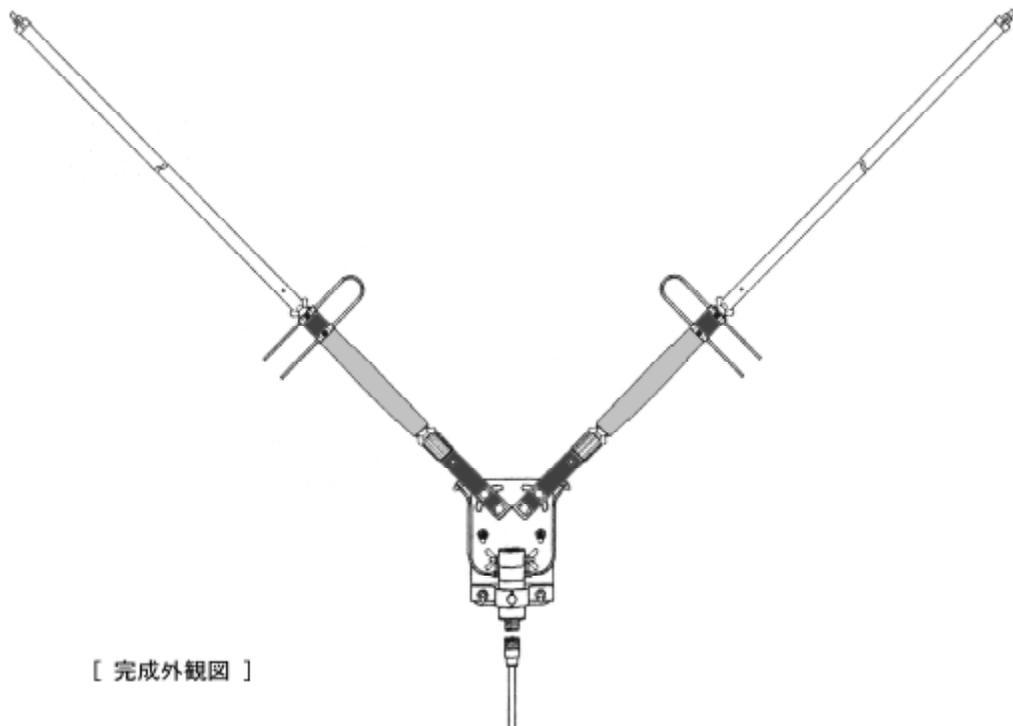
周波数帯	7MHz	10MHz	14MHz	18MHz	21MHz	24MHz	28MHz
標準寸法 (L)	100mm	40mm	45mm	45mm	50mm	15mm	15mm



- (8) ⑰ベース・コイルの上下を間違わないように、エレメントのベース部に差し込む。⑲U字エレメントは調整時にスライドさせますのでぶつからない角度にして、⑳ウイング・ナット(M6) を手でしっかり締める。

【注意】 ベース・コイルの落下防止のためしっかり締めて下さい。
但し、工具などで必要以上の力で締めると、破損することがあります。

- (9) 最後にエレメントをいっぱいまでのばし、③ナベビス でしっかり止める。

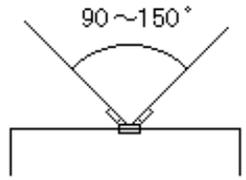


【 完成外観図 】

設置上の諸注意

アンテナは、設置場所や設置方法によって性能やVSWRに影響があります。次の事項に注意して設置してください。

- (1) 周囲の金属製の物（手すり・他のアンテナ等）からは、できる限り遠くに設置してください。また、左右のエレメントがそれらと平行にならないように設置してください。
- (2) ベランダ等の手すりに設置する場合は、右図のようにV型に設置してください。
- (3) 地上や屋根の上のマストに取り付けて使用する場合は地上（屋根）より約1.5m以上にあげてください。あまり低いとVSWRの調整ができない場合があります。
- (4) 事故防止のため、ネジ類はしっかり締め、使用しない時はエレメントをはずしておく事をお勧めします。
- (5) 垂直マストの途中に取付の場合は、必ず⑩マウントブラケットをご使用ください。



ベランダを上から見た図

調整方法

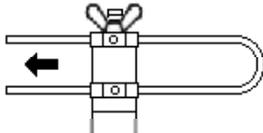
- ◆ 準備 ◆
 - ・VSWR 計を必ずご用意ください。
 - ・アンテナ・チューナーやカプラーをご使用の方はスルー状態にするか、はずして下さい。
 - ・同軸ケーブルの不良（断線・ショート・接触不良等）が無いか確認してください。

- ◆ 注意 ◆
 - ・調整時の電力は50W以下にしてください。

- (1) ご希望の周波数(F) のVSWRを測定します。VSWR 1.5 以下でしたらそのままご使用になれます。
- (2) VSWR 1.5 以上の方、または VSWR をより良くしたい方は、次のように調整して下さい。

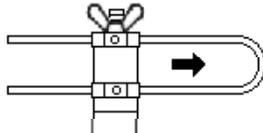
- ① 標準寸法にて一番 VSWR が良い周波数(f_0)を探します。
バンド内数ヶ所のVSWR を測定します。

- ② $f_0 < F$ (f_0 が低い)



周波数(f_0)が高い方に移動します。

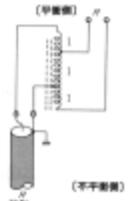
- ③ $f_0 > F$ (f_0 が高い)



周波数(f_0)が低い方に移動します。

【ちょっと一言】

バランはトリファイラ巻きを採用してますので、各端子間は全て導通があります。
ケーブルのチェックの時は、ご注意ください。



[U字エレメント1cm のスライド時における周波数の変可の割合]

製品名 (コイル)	RD-V40 (RDC-40)	RD-V30 (RDC-30)	RD-V20 (RDC-20)	RD-V17 (RDC-17)	RD-V15 (RDC-15)	RD-V12 (RDC-12)	RD-V10 (RDC-10)
周波数帯	7MHz	10MHz	14MHz	18MHz	21MHz	24MHz	28MHz
KHz/1cm	7.5KHz	10KHz	20KHz	35KHz	50KHz	80KHz	100KHz

(この値は周囲の状況によって変わりますので、参考値です)

- (3) VSWR が 1.5 以下に下がらない場合は、エレメントの角度を変えてみるか、設置場所を変えて、再度 (1) から調整を行ってください。
- (4) 調整が終わりましたら、マウント・ベース裏面のナットを10mmのスパナでしっかりと締め付けてください。また、組立方法に間違いはないか、ネジ類のゆるみ等がないかよく確認してください。

★★★ VSWR 1.5 以下にならない方へ ★★★

チューナーやカプラーはスルーにするかはずしてありますか。同軸ケーブルはチェックしましたか。
見た目は異常が見つからなくても、古い同軸ケーブルは結構腐んでいるものです。
わからない事がございましたら、当社までお気軽にご連絡ください。

定 格

製品名	RD-V40	RD-V30	RD-V20	RD-V17	RD-V15	RD-V12	RD-V10
周波数帯	7MHz	10MHz	14MHz	18MHz	21MHz	24MHz	28MHz
型 式	1 / 2 λ 短縮ダイポール						1 / 2 λ ダイポール
VSWR	1.5 以下 (fo: 中心周波数において)						
バンド幅 ^{※1}	15KHz	30KHz	60KHz	100KHz	250KHz	400KHz	1MHz
インピーダンス	50 Ω						
耐入力電力	300W (SSB), 200W (CW), 100W (連続) ^{※2}						300W
コネクタ	M - J						
全 長	約5,150 mm (180°), 約3,650 mm (90°)						
重 量	約 2.5kg (ベースコイルを含む)						
受風面積	0.08m ²						
耐 風 速	瞬間最大風速 40 m/sec.						
適合マスト	φ25mm ~ φ60mm / □25mm ~ □45mm						

※1 VSWR 1.5 以下の帯域幅 (当社基準測定による)。

※2 連続とは5分以下のキャリア等の連続送信をいいます。

- アマチュア局の工事設計書 (申請・変更) の空中線の型式には「ダイポール」とお書きください。
- このアンテナはアマチュア無線用のアンテナです。この用途以外、規格外、または正常に動作していない状態でのご使用にて発生したトラブルにつきましては、責任を負いかねます。
- お買い求めいただいた製品は厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故等による、破損などがございましたら当社までご連絡ください。